

2、高級魚あかじん(スジアラ)の突き方

沖縄の三代高級魚のひとつ「あかじん!!」

この魚を突く事が出来るようになれば、海人(漁師)もビックリしますよ!

まず、あかじんのいるポイントですが、ちぬまんと同様で、珊瑚等が豊富にある岩礁域に生息しています。夜になると比較的リーフの下側(アウトリーフの反対側)に降りて来る傾向にあり、ちぬまんと同様で小さな群れで行動しているため、一匹いれば数匹突く事が出来るでし



ょう。ですが、昼間のスピアフィッシングでは、10メートル~15メートル以深の水深にいる事が多く、リーフの外側を中心に探します。

リーフの外側(アウトリーフ)とは言え、崖のように急激に水深が深くなっているようなアウトリーフでは、なく、岩岩の割れ目がまだらにあって徐々に外洋へ深くなっているような場所がポイントになります。

10メートル以深を超えると海面から探しても水底にいる魚が見えない事がありますので、そのような場所では一回一回潜って探します。

あかじんを発見したら、あかじんの体制をまず確認します。岩の上で同化しておとなしくしている場合は、魚の正面に沈むようにして潜り、真上よりもややアタマ側に向かって“魚と向かい合うように”ゆっくり潜って行きます。射程圏内に入ると(もしくは射程圏内ギリギリの地点で)心拍をあげないように落ち着いて、静かにあかじんの目を見てください。

あかじんはこちらが大きな動作になった瞬間に一気に逃げますが、目を見ると逃げようとしている方向(右側か左側)をチラチラ見えています。

あかじんの目を見て右側にチラチラみている場合は、モリを放った瞬間に右に走るのので、鉾の先端は、あかじんのアタマよりもやや右に向けて放ちます。

そうすると、逃げようとして右に向いた時にちょうどいい位置(目の後ろの急所・又は頭)に当てる事が出来ます。

あかじんが泳いで動いている場合も同様に静かに潜って行きますが、止まっている時よりも逃げやすいので細心の注意が必要です。

とはいえ、こちらがゆっくり静かに沈んで行くと、うまくいけば、こちら側を向いて静止してくれます。

そうすると後は、先程と同じように目の動きを見て逃げる方向を確認して放ちます。

初心者の方は、まずは、あかじんのいるポイントを見極め、更に、射程圏内に入り長く居れるように潜水時間を少



しでも長く出来るようにする事からはじめて見てください。

因みに、あかじんは、高級魚でありながら誰でもとることが可能です。(違法ではありません)

但し、県の漁業調整規則に定められた漁具・漁法を守らなければ行けません。

因みに、因みに、あかじんは、沖縄の言葉で、赤くて、じん(お金)になることからその名がつけられたそうですよ。本土では、スジアラと言います。